

事業所名

児童発達支援センター び〜と (放課後等デイサービス)

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

19 日

法人（事業所）理念		「やさしさあふれるまちづくり」ハンディキャップを持つ人々も、ハンディキャップを持たない人々も、共にいきいきのびのび暮らしていける理想の社会環境の実現をめざしています。「お互いを思いやるやさしさ」=「心のスロープ」が全ての人々の心の中に広く、大きく、なだらかに広がっていき、やさしさに溢れた街になることを願っています。				
支援方針		放課後や長期休暇時に日常生活、集団生活での行動（時間や生活の中でのルールを意識を持つ）の習得を目指し支援を行います。安心して過ごせる場所として一人ひとりに合わせた支援を小集団で行います。				
営業時間		14 時	00 分から	17 時	00 分まで	送迎実施の有無 あり
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	一人ひとりの観察を行い、健康状態、生活リズムや生活習慣などを把握し、基本的な生活スキルの習得を目指します。必要に応じて、ご家族へ助言等の支援を行います。将来的に日常生活を自立して送ることができるように、活動を通して支援を行います。				
	運動・感覚	サーキットやゲームなどを通して楽しみながら体を動かす経験を重ね、運動機能・体幹・バランス感覚を育てる事により、姿勢保持・集中力の持続に繋がるように支援を行います。				
	認知・行動	スケジュールやタイムタイマーを使用し、見通しをたて、安心して活動ができるように支援を行います。数字、数量、色、形、表情、感情、季節、時間、曜日などの理解や、入って来る情報に対して適切な判断や行動が取れるように支援を行います。				
	言語コミュニケーション	他者との関わりや活動を通して、適切なコミュニケーションスキル・自己表現の向上に繋がります。				
	人間関係社会性	他者との関わりや活動を通して、人間関係の構築、社会性の発達、集団活動や地域での生活の中で、困りごとがなくなるように支援を行います。SST（ソーシャルスキルトレーニング）を取り入れた活動を行い、ルールに合わせた行動や社会参加の経験を通して、他者との関係づくりや社会性の向上、感情のコントロールができるように支援を行います。				
家族支援		家庭での困りごとに対する助言やサポートを行います。			移行支援	学校・関係機関との連携を行います。
地域支援・地域連携		将来的に地域での生活を行う上で、一人ひとりの「こまり」がなくなるよう、園、相談支援事業所、行政等の関係機関との連携を行い支援をします。			職員の質の向上	定期的な内部・外部研修の参加。 療育セミナー・ペアレントプログラムの開催。
主な行事等		お誕生会・七夕まつり・プール遊び・秋祭り・スポーツの日・ハロウィン・クリスマス会・豆まき・送る会 避難訓練				